

令和7年度 英語科及びデジタル科実施状況について

(別紙2)

金沢市立森山町小学校

①児童アンケート

(1)英語科(小学校5年生:令和8年1月実施)

(%)

		そう思う	どちらかと言えば そう思う	どちらかと言えば そう思わない	そう思わない	無回答
問1	英語科の勉強が好きだ。	30.0	48.0	18.0	4.0	0.0
問2	英語科の勉強は大切だ。	74.0	22.0	2.0	2.0	0.0
問3	英語科の授業の内容が分かる。	50.0	34.0	12.0	4.0	0.0
問4	先生や友達に英語で質問することができる。	30.0	44.0	24.0	2.0	0.0
問5	先生や友達の英語の質問に英語で答えることができる。	34.0	44.0	14.0	8.0	0.0
問6	アルファベットの大文字が書ける。	82.0	14.0	4.0	0.0	0.0
問7	アルファベットの小文字が書ける。	80.0	14.0	4.0	2.0	0.0
問8	教科書やピクチャーディクショナリーの単語や英文を書き写すことができる。	74.0	22.0	4.0	0.0	0.0
問9	教科書の単語や英文を読むことができる。	30.0	44.0	18.0	8.0	0.0

(2)デジタル科(小学校1～6年生:令和8年3月実施)

		そう思う	どちらかと言えば そう思う	どちらとも言えない	どちらかと言えば そう思う	そう思うわない
問1	自分やみんなのことを考えてICTを使うことができる。	73.8	17.9	7.6	0.3	0.3
問2	生活の中で上手にICTを使うことができる。	56.6	27.2	12.1	3.5	0.7
問3	深く広く学習するためにICTを使うことができる。	66.9	18.6	12.8	1.4	0.3

②指導改善の具体策

【英語科】

- ・外国の方との交流を計画的に行う。必然性のある活動、本物を扱う状況、誰に伝えるのかが明確な言語活動を設定する。
- ・文字と絵や音をつなげることができるような教材の扱い方の工夫をする。

【デジタル科】

- ・活動の取り組み方の1つとして、クロームブックを選択しようという意識を高められるようにするために、写真や動画を撮ったり情報をまとめたりなど、日常的にICTに関わる機会を意図的に用意していく。

③学校関係者評価

【英語科】

- ・大半の児童が英語の重要性を認識しており、英語を学ぼうとする好奇心も高い。しかし、書くことはよいが話すことが難しいととらえている児童も多いのではないかと。外国人観光客が多く訪れる東山近辺へ出向くなどして直接英語圏の人たちと交流する機会があってもよいのではないかと。

【デジタル科】

- ・ICTに対する意識も高く、活用する力も育っていると思われる。さらなる指導をお願いしたい。
- ・主体的に考えてICTを使っている児童が多いが、これからスマートフォンをもつことで急激に変化していくと思われる。学校でも家庭でも情報リテラシー等について学び、情報交換できるような機会があればよいと思う。